

2016 年度事業報告

2016 年 4 月 1 日より 2017 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人フェア・プラス

2016 年度は当初重点取り組みとして、①京都造形芸術大学との新たな取り組み、②マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、③アバカ・ブランド JIU および Cradle Cradle 商品の販売拡大、④作業所製品のノベルティ等への市場開拓を計画していた。

この中で、2016 年度に実施した事業は、②マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、③アバカ・ブランド JIU および Cradle Cradle 商品の販売拡大を中心とした取り組みが上げられる。①京都造形芸術大学での選択科目の授業（プロジェクト）は、大学側の都合により今年度見送りとなったが、代わって京都大学フェアトレードチーム「まなびやハチドリ」との連携による、one world festival for youth へのブース出展、ワークショップの開催を行った。詳細は、以下の通り。

1. 基盤整備

a. 事務局体制

事務局長（常勤）、経理担当スタッフ（非常勤）で日常業務を行うとともに、ツキイチカフェなどイベントの運営、および新商品開発はボランティアやプロのデザイナーの協力を得て進めてきた。

2. 啓発活動事業

a. ツキイチカフェの継続、会員同士のツキイチカフェ・スピンオフ会の開催とドキュメンタリー映画上映会実行委員会の立ち上げ

4 月 9 日 榛木 恵子（NPO 法人関西 NGO 協議会 事務局長代行）

「NGO の仕事、市民活動のボランティア。山あり谷ありです。」

5 月 7 日 上野山 裕久（NPO 法人京都難病支援パッションネ理事長）

「『マンガで綴る難病な日々』～制度、生活、就労～」

6 月 4 日 河合 隆（京都西陣会 理事長）

「障害者の真の社会参加とは？」

7 月 9 日 河合将生（NPO 組織基盤強化コンサルタント office musubime 代表）

「NPO や NGO の家庭教師の仕事とは？仕事内容と魅力、関わっている NPO や NGO について」

8 月 20 日 浦田 雅夫（京都造形芸術大学こども芸術学科准教授、アフターケアの会メヌエット事務局） 「社会的養護ってなんでっか？」

9 月 10 日 廣瀬 昌代（キッズファーム in 大原 代表）

「未来を耕す。子達と共に」

10 月 8 日 小吹 岳志（フェアトレード・サマサマ事務局長、オイコクレジット・ジャパン事務局長）

「『風に立つライオン』になれなくても、できることから始めよう」

11 月 12 日 小谷 智恵（アレルギーネットワーク京都びいちゃんねっと事務局長）

「『食物アレルギー』ってかわいそう？」

12 月 3 日 兵田 大和（食育ジビエアドバイザー、洛北猟友会役員）

「狩猟の持続可能性を求めて」

- 1月14日 河西 実 (NPO 法人フェア・プラス 常務理事・事務局長)
「フェアトレードと障害者問題への取り組みを考える」
- 2月4日 杉山 遼 (NPO 法人アクセス・共生社会をめざす地球市民の会 理事、京都府立八幡支援学校 中学部教務部長)
「知るところから始まる 協力・共生」～フィリピン・スモーキーマウンテンの子供たちへの支援と日本の障害児への支援を通じて～
- 3月4日 大塚 茜 (NPO 法人和～なごみ～ 理事長)
「災害時の広域避難を考える～東日本大震災避難者支援の現場から～」

[スピノフ会メンバーによる新規企画]

スピノフ会メンバーにより実行委員会を立ち上げ、精神障害者ドキュメンタリー映画「あいー精神障害と向きあって」の京都上映会開催を4月16日ひとまち交流館大会議室で行うべく準備を進めた。

b. フィリピン・ツアーの実施

デザイナー井澤 葉子氏に、12月28日～1月3日マリナオを訪問して頂き、新商品開発のデザイン、試作について打ち合わせを行う。

c. 京都大学フェアトレードチーム「まなびやハチドリ」との連携

京都大学「まなびやハチドリ」と連携し、またツキイチカフェ運営の学生ボランティアも参加して、高校生向けイベント **one world festival for youth** にブース出展、ワークショップ「貿易ゲーム advance」を開催。

d. マスコミへの情報発信 (服飾関係雑誌社を含む)

5月20日 「美しいキモノ夏号」 グラビア紹介 (アバカ・クラッチバッグおよび pinoi バッグ)

5月28日 毎日新聞 「Cradle Cradle 展示発表会」

3月6日 京都新聞 「ツキイチカフェ：大塚茜 (NPO 法人なごみ)」 (震災特集)

3. 作業所製品販売事業

a. 西陣工房にて製作する京組紐のブレスレット (ブランド AKE) の新規取引先開拓

- 京都デザインハウスとの取引を7月より開始
- ゼロコネクションとの取引を2月より開始

b. 第三かめおか作業所にて製造する安納芋のスイーツの販売継続

- 安納芋のシフォンケーキの販売を継続。取引先の蜜香屋は、大阪にカフェをオープン、東京吉祥寺に出店する一方、梅田ルクア店を閉店。

4. フェアトレード商品販売事業

a. 新ブランド Cradle Cradle の知名度向上と販売先開拓

- 5月25日～29日、ギャラリーMADAMA Kyotoにて展示発表会を開催 (来場者 52名)
- 京都、大阪のセレクトシップ、フェアトレードショップへの販売

- ・ シサム工房（京都本店、裏寺通り店、大阪堀江店）、北山アルファベット
 - ・ 百貨店への催事出店：7月27日～8月1日、高島屋洛西店へ出店
- b. JIUブランド商品（クラッチバッグ、かごバッグ）の和服・浴衣関係店舗および広告媒体を通じた販売拡大
- 「美しいキモノ」の読者からの直接注文
 - 着物関連企業「京都一加」への販売
 - 国立民族学博物館：阪急梅田へ出店
- c. マリナオ村の生産者の技能向上、生産環境の改善、アバカの苗木植林
- マリナオ村生産者へのマクラメ編みトレーニングの実施
 - ・ 7月～8月および12月、熟練した生産者が他の生産者にマクラメ編みトレーニングを実施。
 - ・ 8月、アバカ商品生産環境の改善のため、卓上ランプ、はさみ、作業台などを各生産者に提供。
 - 12月、アバカの苗木の植林と以前植林した土地の整備を実施。

以上